

平成 30 年度自立支援協議会 第 2 回地域移行専門部会

日 時：平成 31 年 3 月 18 日（月） 13：55～15：30

■議論の要旨

（議題）

1 平成 30 年度の活動報告、来年度の取組等について

【委員からの意見】

- ・精神障がい者地域移行ワーキングの取組について、以下の 3 点をお願いしたい。
 - ① ピアサポーターの養成について、スーパーマンのようなピアサポーターになってしまう感じで、本来のピアサポーターと少し異なっている感じがするので、保健所単位での身近なピアサポーターの育成を今後検討してほしい。
 - ② 研修について、事業所へ開催の周知をお願いしたい。
 - ③ 大きな社会福祉法人や、社会福祉協議会などを居住支援法人として絡めていけるよう仕掛けの取り組みをお願いしたい。また、居住支援協議会について、精神障がい者地域移行ワーキングだけでなく、自立支援協議会との分かりやすい連携をお願いしたい
- ・各職種が顔の見える関係になることが目的となるような研修会を企画してほしい。

【事務局から】

- ・居住支援協議会での課題に、①居住支援法人をどう確保していくか ②住宅確保要配慮者がどう住宅を確保していくか、という点があるので、現場の方々の知恵を拝借しながら取り組んでいきたい。地域移行専門部会で次回以降、居住支援協議会からの報告や、意見交換等ができる場を設けられればと考えている。

2 地域生活支援拠点等整備について

【委員からの意見】

- ・2019年度の取組の計画に地域生活支援拠点等整備促進のために各市町村訪問があるが、その時にまた各圏域の人達が検討する機会を設けてくれるのか。そのような場がないとなかなか意見交換ができないという状況にある。
- ・委託の相談支援事業所の役割はすごく大きい。情報をしっかり共有して、各法人を巻き込みながら、地域生活支援拠点等の整備促進の機運を高めていきたい。定着支援を活用しながら、自立支援協議会と併せて促進していきたい。
- ・居住支援法人が大分県は 2 法人となり、力添えをいただいたこともあった。今後助言をいただきながら、また、居住支援法人として具体的にどうやっていいのか分からないという話もあるので、そこで私たちの意向も伝えられれば、私たちの困り事や、相手方の困り事をもっと共有できると思う。

- ・保健所では、「地域移行・地域定着支援事例集」を参考にしながら計画策定に今年度初めて取り組んだ。管内にある事業所で何ができるのかを「見える化」していくこと、市単独でできるのか、隣の市と連携でできるのか、広域で考えるべきなのか等、もっと具体的にしていけないといけない。
- ・別府市は地域生活支援拠点等整備の五つの機能の中から、まずできることからやっていった。相談支援を自立支援協議会と一緒に中心となってやっていくのがやりやすい。今後、全体的にいろいろな方が携わってできるような体制づくりを考えている。
- ・施設単独で、地域移行・定着を独自の視点でやっているのだから、それについて部会で状況説明できる機会を設けてくれればやりたい。
- ・緊急時の対応があり、地域の安心感に繋がり、非常にいいことだ。
- ・グループホームが最終的な棲家になりつつあり、住み慣れていて、60歳、65歳になっても利用したいというニーズもある。
- ・精神科病院の立場から、夜間、緊急時の医療に関して心配。
- ・関わった人たちが有機的に集まって、有機的にその人の持っているスキルを出さない限り、システムだけ作ってもダメなような気がする。
- ・地域生活支援拠点等は、地域の創意工夫と実情に応じたところで整備を行っており、市町村によって全然違う。

【事務局から】

- ・今年度は、第一段階として、県全体と一緒にこの地域生活支援拠点等整備に対する考え方の共通認識を持つということで、厚生労働省と共催でブロック会議を開催した。
- ・その後、第二段階として、10月に各圏域6ヶ所を訪問して、圏域の中で、どういう進め方をすればいいか、今どういう状況にあるかという意見交換を行った。
- ・第三段階として、来年度の取組として、共通認識を持ちながら、各市町村でどういう進め方をしていけばいいのか、まず市町村ごとに考えてもらう。
- ・来年度は、圏域ごとの会議は計画していない。各市町村でどういう取組みができるのか考えていく。
- ・市町村を超えて連携していくことは必要だが、まず市町村の中で考えてもらいたいというのが、県の考え。
- ・市町村ごとに違いもあるので、県で各市町村の動きや、どういう状況にあるのか把握して、それをまた協議していくことを、来年度は実施したい。

3 地域移行・地域定着支援事例集の更新について

【事務局からの提案】

- ・来年度の更新について、「Ⅱ 大分県の現状」の時点修正の他に、「事例」に新たに下記の事例を掲載できるよう取り組みたい。

①「精神科病院からの事例」

②「入所施設からの事例」

③「救護施設からの事例」

④「矯正施設からの事例」

部会委員の他に、精神障がい者地域移行ワーキングのメンバーなどにも働きかけて、取り組みたい。

- ・事例にある「地域定着支援計画 兼 台帳」については、現在多く使用されている様式で作成したい。